

同 | 窓 | 会 | 報

平成 27 年 3 月 1 日 発行



秋のふれあい市 オープニング風景

目 次

■ 同窓会長挨拶	同窓会長 今井 康弘 …… 2	■ 祝 全国農業高校お米甲子園…………… 5
■ ご挨拶	高松農業高等学校 校長 石田 正人 …… 2	■ 環境保全型農業推進コンクール「中四国農政局長賞」…… 5
■ 蜂谷 昭 様 旭日単光章受章を祝して	守安 幹男 (昭和 20 年農科卒) …… 3	■ 活躍する部活動 (レスリング部) …… 6
■ 祝 毎日農業記録賞受賞 …… 4		■ 母校だより ・進路状況 …… 6
		■ あっ晴れ! おかやま地域文化奨励賞…………… 7
		■ ESD世界会議岡山開催…………… 7
		■ 平成 27 年度同窓会総会ご案内 …… 8

同窓会長挨拶

同窓会長 今井 康弘 (昭和29年農業課程卒)

平成27年を迎えましたが、同窓の皆様にはご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年はNHKの大河ドラマに「黒田官兵衛」が登場し視聴者の興味をそそりましたが、なかでも「高松城水攻め」そして「備中大返し」「秀吉の天下取り」へと展開する中で高松城址を訪れる人々が続きました。高松城址には我等が大先輩であり、また母校に永年ご勤務され、高松農学校最後にして高松農業高等学校初代の校長を務められた「高田馬治」先生の胸像と昭和5年11月16日、昭和天皇が来校された際に「高松城水攻め」の御前講義を勤められたことから、それを顕彰する碑が建立されています。私は高田先生の警咳に接する機会は無かったのですが、先生の偉大なご業績は同窓生として忘れてはならないものと思います。同窓の皆様におかれても機会を得られて高松城址をお訪ねいただき、高田先生のご業績を回顧されてはと思います。

さて、新聞紙上などでご承知のように母校においては、

この一年間も様々な面で成果を上げられています。スポーツ面ではレスリングをはじめ運動部が頑張っています。文化活動においても郷土芸能部の「最上太鼓」は地域文化への貢献と今後の一層の活動が期待されるとして岡山県及び県文化連盟から「地域文化奨励賞」を受賞しました。また昨年11月20日には学校農業クラブ岡山県大会が母校において開催され、県下唯一の農業単独校として、また農業教育中心校として素晴らしい大会を展開し、各種の発表や技術競技にも好成績を残しています。このように、校長先生をはじめ教職員皆様のご指導を得て活躍している後輩を応援するためにも、また高田先生をはじめ先輩方のご業績を顕彰するためにも来るべき総会には奮ってご参会を戴きますようお願いいたします。



ご挨拶

校長 石田 正人

同窓会の皆様には益々御健勝にて御活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は母校高松農業高等学校の発展と在校生の教育活動に、多大な御理解と御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年度も元気いっぱい年でした。まず5月には、1年生全員でTaSCA(高農社会貢献活動)に取り組み、高松地域の歴史の学習や地域の清掃奉仕活動を実施しました。

さらに、本校ではこれまでの5つの学科の取組を独立させたまま、起業家部門だけを一つのホールディングスのようなイメージで統括し、よりアクティブかつ透明性のある農業教育活動ができればと考え「高農くすのきカンパニー」を設立し小さな産声をあげました。

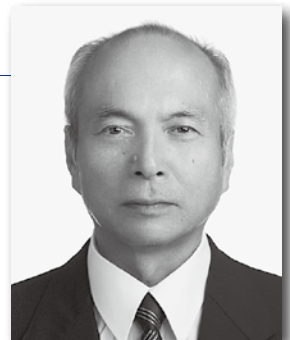
また、生徒の活動では、7月には、レスリング部が横須賀市であった南関東インターハイに県代表として出場し、全国ベスト16、個人も3階級に出場を果たしました。8月には、農業土木科3年の藤田誠君が春の選抜3位に次いで、全国グレコローマンスタイル120kg級で準優勝、10月の長崎国体にも藤田君を含め3名出場しましたが、全員5位入賞、射撃部も個人で農業土木科3年の平松君が4位と岡山県天皇杯13位に大きく貢献しました。その他ラグビー部が単独チームで9年振りに花園予選に出場、陸

上競技三段跳びで農業科学科2年の白根君が中国大会2位、文化部では茨城県であった全国総合文化祭に弁論、写真の部にそれぞれ1名出場、出展を果たしました。また、毎日農業記録賞中央審査委員長賞(日本一)、酪農の夢コンクール優秀賞、お米甲子園3年連続入賞と、今年も全国レベルの入賞が続きました。さらに、平成2年から活動を続けている郷土芸能部が「あつ晴れ!おかやま地域文化奨励賞」を岡山県文化連盟からいただきました。

学業の方でも、同窓会の絶大なるご支援で実現した平成25年6月スタートの英・数・国のe-ラーニングも3年目を迎え、平成31年度から始まる高等学校基礎学力テストに備えて、工夫と改善を重ねているところです。

このように本校は、地域の人々から、スポーツに躍動し、文化の華香る、この地域における最高学府として、誇りある高等学校として、本校生徒の素直で素晴らしい潜在能力を発揮させるべく努力してまいりたいと考えております。「あしたの笑顔の、種をまく。」という新スローガンの下、頑張っていきます。

同窓の皆様におかれましては、今後とも御指導御鞭撻よろしくお願いいたします。





蜂谷 昭 様 旭日単光章受章を祝して

守安 幹男 (昭和 20 年農科卒)

平成 26 年秋の叙勲で、昭和 20 年 (第 46 回) 農科卒の蜂谷昭氏が、土地改良事業の功労者として、旭日単光章を受章されました。ご本人をはじめご家族様の栄誉でありますとともに、我々同期生や同窓生にとりまして、誠に名誉なことであり、心からお慶び申し上げます。

蜂谷氏は、高松農学校卒業後直ちに岡山県職員として勤務、主として耕地関係に従事し、41 年間の長期に亘り敏腕を揮われました。上司の信頼も厚く、私達同期の県職員仲間でも一段と抜きん出ていました。人知れず、お洒落で豪華な眼鏡フレームを掛けるなど、目立たない所に品格の高さを漂わせてもおられました。また、長距離マラソンに挑み、国内は勿論、国外まで遠征する強靱な精神の持ち主でもあります。

昭和 61 年 3 月、高梁地方振興局農林事業部を退職された後は、地域のために貢献しようと、直ちに一宮土地改良区の事業にて農業基盤の整備、造成された農業関係施設の維持管理を行っており、地域振興の基盤ともなっております。この改良区の仕事に昭和 61 年から従事、平成 10 年から理事長の要職を 26 年まで務められ、このご功績で叙勲の栄誉に浴されました。今後、益々のご活躍とご健勝を祈念いたします。

県職員としての活躍概要

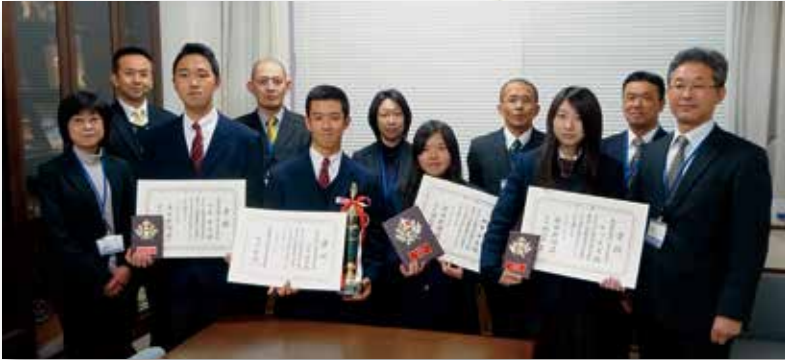
事業内容	部署	従事期間
県土の基盤づくりの推進	耕地課、土木事務所 岡山・津山各地方振興局他	30 年間
岡山の観光・企業誘致の推進	大阪事務所	4 年間
活力ある産業づくりの推進	農産園芸科、農業指導課 高梁地方振興局	7 年間

地域振興への貢献概要

従事事業	役職及び従事期間
一宮土地改良区	総 代：昭和 61 年～平成 26 年 理事長：平成 10 年～平成 26 年
岡山県土地改良事業団体連合会	監 事：平成 15 年～平成 21 年 代表監事：平成 17 年～平成 21 年
岡山市北区西辛川町内会	会 長：昭和 63 年～平成 20 年

祝 毎日農業記録賞

高校生部門優秀賞・中央審査委員長賞受賞



2014年(第42回)毎日農業記録賞において、全国から1028編(一般部門169件、高校生部門859件)の応募受付の中、高校生部門は、全国最高賞となる優秀賞・中央審査委員長賞に本校農業科学科1年生の今井優成さんが選ばれました。

今井君の作品は、「牧石青ネギで地域を元気に」と題して、自宅のある岡山市北区中原牧石地区の特産品「牧石青ネギ」

の栽培や経営の魅力、難しさなどを綴ったものです。中学1年生から始めた、地元直売所への独力による農産物の栽培・収穫・出荷は、現在、年間100種類を超えているとのこと。在学中の本校で農業経営や栽培技術を学んだ後は、大学でさらに高度な農学を学び、将来は、野菜の生産と採れたて野菜を使った料理を提供できるレストランを併設した会社を設立するのが夢、と今井君は目を輝かせています。先日は、校内でも全校生徒の前で授賞式を行い、学校を挙げて祝福するとともに、今後、益々の農業学習への意欲を誓い合いました。

また、今回の毎日農業記録賞には、今井君のほかにも3名の本校生徒が応募し、食品科学科3年生の山下千夏さんが「食の番人としての管理栄養士」への思いを伝えて高校生部門優良賞、食品科学科3年生の丸川真凜さんが「管理栄養士として医療を支える夢」を語って岡山支局長賞、園芸科学科2年生の江草寧浩さんが「祖父の後継者として日本のピオーネを有名にする夢」を著わして岡山支局長賞の各賞に輝きました。

今井優成さんの日本一はもちろん、本校から応募した4人全員が受賞の快挙は、取りも直さず、現在の母校、高松農業高校の農業専門教育が、確実に次代の農業を担う生徒を育てている証であり、同窓の先輩方が脈々と積み重ねてこられた、農業教育の賜物であることは明らかです。

先輩諸氏におかれましては、この快挙を共に喜んでいただき、今後の後輩の活躍を応援いただければ幸いです。



The collage includes several articles from the 'Mainichi Agriculture Record Award' (毎日農業記録賞) newspaper. The main headline reads: 「牧石青ネギ」で日本一 中央審査委員長賞に今井優成さん (100種以上栽培、出荷). Other articles feature:

- ピオーネ 有名に**: 岡山支局長賞 丸川真凜さん (Awarded to a 3rd-year student for her dream of becoming a nutritionist to support medical care).
- 夢は管理栄養士**: 岡山支局長賞 山下千夏さん (Awarded to a 3rd-year student for her dream of becoming a nutritionist to support her grandfather's business).
- 家族を守る、食の番人に**: 岡山支局長賞 江草寧浩さん (Awarded to a 2nd-year student for his dream of becoming a nutritionist to support his grandfather's business).

 The clippings also mention the award ceremony and the school's agricultural education.

祝 全国農業高校お米甲子園 環境農業専攻が 『特別優秀賞』を初受賞



第16回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会、第5回全国農業高校お米甲子園において、農業科学科環境農業専攻生が栽培したお米（品種：にこまる）が「特別優秀賞」を受賞しました。

昨年まで、同科作物専攻が2年連続で「金賞」と「特別優秀賞」を受賞しており、農業科学科としては3年連続の快挙となりました。今年は全国の農業高校84校から180検体の出品があり、その中から最終審査にノミネート。今年度の会場は青森県田舎館村で、本校からは農業科学科3年の廣岡敬太君（環境農業専攻長）が出席。審査員30名のうち得票数8点を獲得して「特別優秀賞」となりました。有機無農薬栽培での受賞はめずらしく大変光栄であり、生徒や教職員にとっても、さらなる栽培意欲の向上につながる受賞となりました。



環境保全型農業推進コンクール 「中四国農政局長賞」を受賞



平成26年11月5日に平成26年度環境保全型農業推進コンクール中国四国地域推薦事例発表会が中四国農政局（岡山市）で開催され、農業科学科環境農業専攻3年廣岡敬太君、三宅春菜さんが発表しました。コンクールでは、専攻で取り組んでいるアイガモ・どじょう農法やラオス（JICA）やフィリピン（AMDA）からの研修生との交流会、そして課題研究で取り組んでいる内容についても英語を交え堂々と発表することができました。農林水産大臣賞は逃しましたが、その内容が認められ中四国農政局長賞を受賞することができました。

部 活動 (レスリング部)

次代の高農を担う有望な生徒たち

レスリング部監督 工藤 祐士

今年で創部 41 周年を迎える岡山県立高松農業高等学校レスリング部は、一昨年全国グレコで近藤（国士舘大）が、昨年は国体で藤田（中京学院大）が全国制覇、そして今年は藤田（現3年生）が全国選抜第3位、全国グレコ準優勝など輝かしい成績を残しています。

また次の世代も力をつけており、新人戦および岡山県選抜大会では団体優勝、JOC（ジュニアオリンピックカップ）中四国ブロック大会では2年生（高森・大月）1年生（小宮・北條・西谷）が実力を発揮し、高森・小宮・北條・西谷が来春4月に行われる JOC 全国大会出場を決めています。さらなる活躍が期待できる有望な生徒たちが着実に育っています。



進路指導及び進路状況について

進路指導課長 玉木 邦彦

本年度の進路状況は、就職が55%、進学が40%、進路未定が5%でした。就職、進学の決定は、例年以上に順調で、特に就職は、昨年度より求人件数も増加し、ほとんどの生徒が第一志望の企業に内定した。また進学においては、今年も国立大学への合格を果たしている。専門性を生かせる職種からの求人が少ない学科もあり、希望する職が見つけれず、進路未定者が例年5%程度でている。そのようなことから、進路指導課では、低学年からの進路指導を推進するため、就職アドバイザーによる面談、1・2年生への進路ガイダンス（専門学校、大学関係者の来校による説明会）の実施や、夏休みの全員企業見学や、オープンスクールへの参加を奨励し、進路意識の高揚を促した。



あっ晴れ!おかやま
(最上太鼓)

「あっ晴れ!おかやま地域文化奨励賞」受賞

本校郷土芸能部「最上太鼓」は平成2年、地元最上稲荷に伝わる原曲を元に倉敷天領太鼓の指導を受けて発足し、今日まで25年間、先輩から後輩へと「和太鼓の精神」を引き継ぎながら活動を続けてきました。歴代の部員と顧問の先生方の熱意は、今年度の「あっ晴れ!おかやま地域文化奨励賞」受賞へと繋がり、現在の部員、顧問一同これまで以上に「進化する最上太鼓」を目指さなければと気持ちを新たにしております。

今年度の部員数は過去最多の18名。演奏活動は最上稲荷夏季大祭、宗治祭、まほろば祭など年間18回に及んでいます。更に「晴れの国和太鼓まつり」「岡山県民族芸能大会」等の新たな挑戦を通して、演奏の質、技術と気迫の向上に手応えを感じた一年でした。今後も、技術の上達のみならず打ち手の人格向上を大切に、また、先輩から後輩へと引き継がれた和太鼓の絆、地域との絆を大切に日々努力を重ねてゆきます。同窓会会員の方々の応援をよろしく願いいたします。

※「あっ晴れ!おかやま地域文化奨励賞」

岡山県と公益社団法人岡山県文化連盟では、長年にわたり地域に根ざした特色ある文化活動を行い、個性豊かな地域文化の創造・継承に顕著な成果を収めた個人又は団体を顕彰、紹介することを通じて、文化の振

興と文化力による地域づくりを推進するため、「あっ晴れ!おかやま地域文化賞・地域文化奨励賞」を設けている。

地域文化賞は地域での優れた活動歴がおおよそ25年以上、地域文化奨励賞はおおよそ15年以上の個人又は団体を対象としている。今年度は15候補の推薦があり、有識者からなる選考委員会による選考の結果、地域文化賞(知事表彰)3件及び地域文化奨励賞(公益社団法人岡山県文化連盟解消表彰)3件が決定された。

(表彰式パンフレットより抜粋)



ESD活動の取り組み

高農環境を考える会

創設13年を迎えた高農環境を考える会は、地域の宝「スイゲンゼニタナゴ」の保護活動を始め、地域の環境保護・保全に取り組みESD活動を行ってきました。平成26年11月、岡山市でESD世界会議が開催されました。私たちも参加し、高農環境を考える会の活動を岡山県内はもちろん、国内外の方に知ってもらえることができました。

また今年度は、オリジナルのクリアファイル・パンフレット・ステッカーを作成し、広報活動・啓蒙活動を重点に取り組みできました。各種イベント、公民館主催行事等に積極的に参加し地域の方、小中学生と交流を図りながら幅広い世代の方に伝えることができたと思っています。今後も、この地域の宝「スイゲンゼニタナゴ」を将来世代まで守っていきたいと思います。



スイゲンゼニタナゴ



ESD世界会議サイドイベント

同窓会事務局だより

平成 26 年度同窓会総会報告

本年度総会は、去る平成 26 年 4 月 27 日（日）にホテルグランヴィア岡山にて、7 グループの同期会、総勢 130 名が参加し、盛大に開催できました。以下にその概要を報告します。

- (1) 開会行事
- (2) 協議
 - ・平成 25 年度事業報告・決算報告
 - ・平成 26 年度事業計画・予算案
 - ・その他
- (3) アトラクション（高松農業高等学校郷土芸能部）
- (4) 閉会行事
- (5) 懇親会

平成 25 年度決算

《一般会計》

	予 算	決 算	増 減	次年度繰越
収入の部	5,001,000	5,216,161	215,161	
支出の部	5,001,000	3,999,489	△ 1,001,511	1,216,672

《特別会計》

みずほ信託銀行		
元 金	利 息	次年度繰越
6,051,098	1,206	6,052,304

中国銀行		
元 金	利 息	次年度繰越
7,231,161	1,150	7,232,311

《名簿会計》

収 入	支 出	次年度繰越
487,889	0	487,889

平成27年度 同窓会総会ご案内

と き 平成 27 年 4 月 26 日（日） 午前 10 時より
 （9:30～受付
 10:00～総会、同期会、懇親会）

と ころ ホテルグランヴィア岡山 岡山市北区駅元町 1 番 5
 電話 086-234-7000

※会場がホテルグランヴィア岡山に変更していますので、ご注意ください。

懇親会費 7,000 円

《同期会の開催について》

・総会当日の同期会は、卒業回の下一桁が 3 と 8 の回（昭和卒は下一桁に 2 と 7 の卒業年、平成卒は 4 と 9 の卒業年）及び希望グループでの実施をお願いしています。

・**なお同期会のご案内はお世話をいただく方から別途ご連絡されます。**

《出席の手続きについて》

- ・総会へのご出席は同封の返信用はがきにてご連絡いただきますようお願い申し上げます。
- ・同期会へのご出席の方は、お世話をいただく幹事の方へご出席の連絡をされている場合も、ご面倒ですが同封の葉書での事務局宛の連絡もお願いいたします。
- ・同期会へのご案内がない場合も、お一人、お一人のご参加も歓迎いたします。

※準備の都合上、4 月 10 日（金）までに返信ハガキで出欠の連絡をお願いいたします。